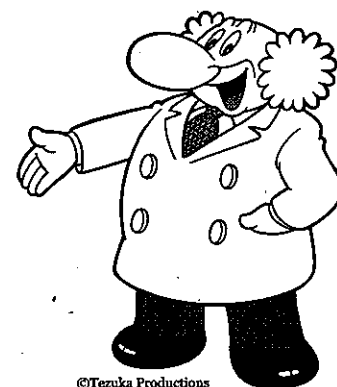


開発型中小企業を後押し



©Teruka Productions

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE

都産技研のモノづくり支援

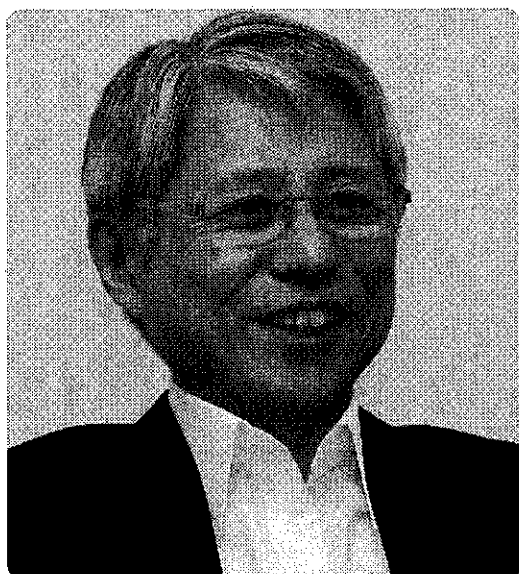
東京都立産業技術研究センター(都産技研)は本部を江東区に開設してから10月で1周年を迎える。東日本大震災を乗り越え、都内の中小企業を支えるために万全の体制でスタートし、都の産業支援拠点として存在感を発揮している。埼玉、千葉、神奈川、長野の4県の公設試験研究機関と連携し、10月下旬から中小企業の海外展開支援にも乗り出す。最先端の研究や試験設備をそろえ、臨海副都心に設けた本部でのモノづくり支援に対する中小企業の期待は高まるばかりだ。

本部開設1周年

「本部を北区から江東区に移転してからまもなく1年を迎えます。開設した時点で新本部の機能をすべて立ち上げることができ、モノづくりを支援する新たな拠点としてフル稼働の状態です。スタートできた。震災に伴い、これまで以上に中小企業を支援し、技術相談と依頼試験、機器利用も過去最高の実績だった。城南地域の企業を中心に利用企業が急速に増えた。本部を設けていた北区など城北地域の企業の利用が少なくなる懸念があったが、実際はほとんど減らなかった。100点をつけられる1年だった」

「古くなった機器を中心に約200機種を更新した。例えば高電圧試験で利用する雷インパルス電流発生装置や非破壊検査用のX線透過装置、振動試験装置、高速造形機などで新機種を導入した。試験機器を拡充することで、企業の利用が増える傾向にある」

「震災の影響を受けた都内の中小企業も少なくありません。『昨年は震災から立ち直ろうとする企業のニーズが高かった。都産技研は工業製品の放射線量を無料で測定しており、都内の中小企業が製品を輸出する際の風評被害対策として利用できる。すでに1200件近くの測定実績がある。職員が工場や事務所を訪問して消費電力を測定し、節電や省エネ対策を支援するサービスも無料で行っている』



地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター
理事長 **片岡 正俊氏**

「4県の公設試験と連携し、中小企業の海外展開を支援するサービスを10月下旬に始めます。『中小企業が自社製品を輸出する際に、海外規格への適合を支援する』広域首都圏輸出製品技術支

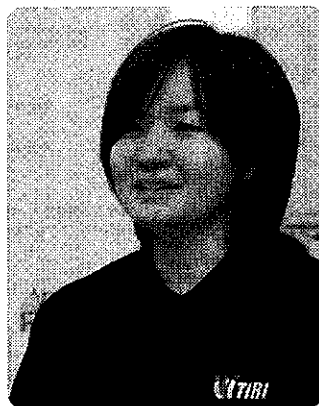
「中小企業では都には海外に目を向ける進めてほしい」共同研究ニーズも高まる。『都産技研として実績を積み上げてい

プロダクトイノベーション支援に大きな成果

「中小企業は品をまず国内場に投入して海外市場を検討していた。円高れままでのように下請けだけでなく、自らが海外市場を開拓する。必要が高まる。外規格的な難しい。『自らが海外市場を開拓する。必要が高まる。外規格的な難しい。』

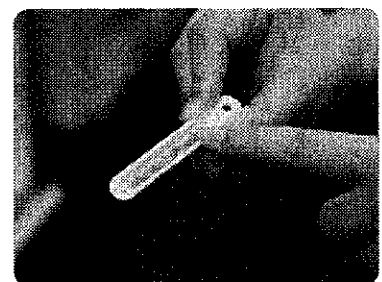
輝 若手研究員インタビュー

東日本大震災の津波被害で発生した廃木材に含まれる塩素の分析に取り組みしています。海水につかった廃木材を固形燃料などに再利用するには、塩素の濃度を把握することが必要です。分析する際に廃木材の前処理に手間がかかっていたのですが、研究により大幅に時間を短縮できました。



環境技術グループ研究員
安藤 恵理氏

研究成果を復興に役立てたい



0%ガス化できるように工夫しました。また、これまでは塩素を十分にガス化できず、燃焼残留物に含まれる塩素を取り出す作業も必要だったため、前処理に1時間程度かかっていた。燃焼温度の上昇と添加剤により濃度測定時間を30分程度に短縮しました。さらに、研究を活かして被災地で利用できる簡易的な分析計の開発も進めています。研究成果が製品として形になり、復興に役立ててほしいと思います。



バイオ応用技術グループ研究員
柚木 俊二氏

ガソリンと混ぜて使うエタノールが植物由来かどうかを見分ける研究に打ち込んできました。植物由来であれば質量数が14の炭素(C14)が含まれています。実は炭素原子1兆個の中に、C14はたった1個しか入っていない希少な原子です。C14が出す放射線がガソリン中の蛍光物質に当たって発光することを利用して計測する手法(液体シンチレーション)で、植物由来のエタノールを特定し、その濃度を知ることができます。ただし赤色に着色されたガソリンは蛍光を吸収してしまつたため、

植物由来のエタノールを検知

ガソリンと混ぜて使うエタノールが植物由来かどうかを見分ける研究に打ち込んできました。植物由来であれば質量数が14の炭素(C14)が含まれています。実は炭素原子1兆個の中に、C14はたった1個しか入っていない希少な原子です。C14が出す放射線がガソリン中の蛍光物質に当たって発光することを利用して計測する手法(液体シンチレーション)で、植物由来のエタノールを特定し、その濃度を知ることができます。ただし赤色に着色されたガソリンは蛍光を吸収してしまつたため、